

今年も防災についての記事を皆さんへお届けする時期になりました。災害とは、洪水や土砂崩れ、地震、台風接近という出来事ではなく、その出来事により、人的な被害や社会生活に被害が生じる事態を指すそうです。

非常時の対策はもちろんですが、普段できることから防災を考えることが必要といわれています。



DISASTER
PREVENTION

防災・減災について

話をしたこと、考えたことがありますか？

市町村から発表される避難情報 (内閣府防災情報ページ)

令和3年5月20日から **警戒レベル4避難指示で必ず避難!** 避難勧告は廃止です

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
警戒レベル4までに必ず避難!			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示※2
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難※3
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません!**

避難勧告は廃止されます。これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から**全員避難**しましょう。

避難に時間のかかる**高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル3で避難に時間を要する人は避難を!

避難に時間を必要とする人は、どのように避難するのか、協力してくれる方はいるのかなどを日頃から考えておくことも必要です。一人で考えず、地域の方などと話し合いをして、避難訓練もしておきましょう。**家族だけでなく、近所・地域とのコミュニケーション**をとることを意識することは、いざという時の大きな助けになります。お住いの都道府県、市区町村では、ハザードマップを作成し公表しています。土砂災害の危険箇所、予想される浸水の深さなどの情報や避難場所が表示されています。防災・減災について考えるきっかけとして**ハザードマップを確認**してみましょう。

あさクリ コラム COLUMN 「キモチの防災」

書籍「地震イツモノートー阪神・淡路大震災の被災者 167人にきいたキモチの防災マニュアル」に「『地震が起きる可能性。』それは「もしも」ではなく、「いつも」あるのです。ただのアンラッキー。来てほしくないもの。そう考えるのではなく、私たちの生活の一部と考えること。」とあります。災害が起きてからではなく、日頃からできる備えや行動を家族・ご近所・友達などと考えてみましょう。